

ICU入室患児の面会時における家族を含めた援助の検討

集中治療部・救急部：○坂井 和代・降旗 賢子・樋口いち子・鰐川 洋子
高野佐江子・上條 薫・滝沢 圭恵・花村ひとみ
中島 忍・川島美智子・堀金 節子・二木 朗江

1. はじめに

近年、看護の対象は家族単位であるとされ、家族も積極的に看護に参加する必要性が言われ始めている。当ICUは、年間入室の約16%を小児が占めている。小児にとってICUへの入室は身体的苦痛を伴う治療や面会制限など非常に特殊な環境にある。患児と家族は分離されることで両者の緊張や不安はより増強される。そのため、面会時間が充実した時間となるよう援助する必要がある。

2. 研究目的

限られた面会時間の中で、患児と家族により充実した援助を行うため、私達の援助の現状と問題点を明らかにした。

3. 研究方法

期間 平成3年7月～平成4年8月

対象 ① 平成3年1月1日～平成4年3月31日に当ICUに入室した小児患者79名の家族

② ICU看護婦19名

方法 ① 家族へのアンケート調査（郵送法）（資料1）

アンケート内容は、下記の8項目である。

1. 面会の形態について
2. 面会時の看護婦の対応について
3. 面会中家族が行う患児の援助について
4. 医師、看護婦の説明について
5. 集中治療室の環境について
6. 集中治療室に持ち込む物について
7. 予定入室患児への入室オリエンテーションについて
8. 緊急入室時の対応について

② 看護婦へのアンケート調査（とめおき法）（資料2）

4. 結果

家族へのアンケートの回収は配布79名中59名で、回収率75%であった。今回アンケート全項目の中で、面会時の患児の家族と看護婦に関わりのある、家族へのアンケート8項目の中の2、3、4の設問項目についてと、ICU看護婦へのアンケートのI（e）について報告する。

1) 家族へのアンケート調査結果

[項目 2. 集中治療室の看護婦の対応について伺います。該当するものに○印をつけてください。]

(1) 御家族の皆さんが面会に来られた時、看護婦から声をかけられましたか。

声をかけられた	57
かけられない	2

(名)

声をかけられて・・・。

よかった	56
悪かった	0
どちらでもない	1

(名)

(2) 看護婦の話し方・態度について伺います。

① 御家族の皆さんに対して看護婦の話し方・態度はいかがでしたか？ ○印をつけてください。(無効1)

よかった	51
悪かった	0
どちらでもない	7

(名)

①で「悪かった」「どちらでもない」と答えた方に伺います。どのような点が気になったのでしょうか。

a	声が小さい	1	f	声を掛けにくい	5
b	声が大きい	0	g	雑談している	0
c	話し方が早い	0	h	頼んでもすぐやってくれない	0
d	言葉が難しい	1	i	質問に答えてくれない	0
e	話し方・態度が冷たい	1	j	子供に話しかけが少ない	1

(名)

(名)

② 御家族の皆さんが面会している時に看護婦はどうしていたらよいですか？ (無効3)

a	話しながらずっと側にいて欲しい	21
b	声をかけず側にいて欲しい	4
c	子供と家族だけにして欲しい	1
d	少し話をしたら席をはずして欲しい	30

(名)

[項目3. 御家族の皆さんの面会中のことについて伺います。]

- (1) 面会中、看護婦に特に勧められて、子供さんに何かされたことがありましたら、いくつでも○印をつけてください。(無記入8名)

a	声をかける	40
b	顔や体を拭く	18
c	さすってあげる	20
d	抱っこする	7
e	食事やミルクをあげる	17
f	本を呼んだりあやす	11

(名) 複数回答

- (2) (1)でひとつでも○印をつけた方に伺います。実際に行ってみての感想を伺います。(無効2)

a	不安だった	13
b	ただ見ているだけで良い	1
c	もう少しやりたかった	3
d	良かった	31

(名) (4名複数回答)

- (3) (2)でa, bに○印をつけた方に伺います。その理由について○印をいくつでもつけてください。

a	初めてしたので	7
b	やり方がわからない	1
c	説明が不十分	0
d	点滴やチューブが多く怖い	9
e	病気に影響するのではないかと不安	2

(名)

〔項目4. 面会の時、医師や看護婦は、御家族の皆さんに子供さんのことについて説明するよう努めています。(1) 実際に説明を受けたこと (2) 説明が不十分だったと思われることの当てはまるものの記号をいくつでも選んで下さい。〕

		(1)	(2)
a	病気について	4 5	2
b	いつ病室に戻れるのか	4 3	3
c	検査について	2 3	2
d	治療について	4 3	4
e	熱や血圧など今の状態について	4 6	1
f	眠れているか	2 6	1
g	痛がっているか	2 7	3
h	食事のことについて	1 7	0
i	泣いたり寂しがっていないか	2 0	3
j	その日にした事 (体を拭いた等)	2 1	2
k	家族の質問や不安について	3 6	1

(名)

- (1) 回答総数59名 全員複数回答
 (2) 回答総数11名 6名複数回答

2) ICU看護婦へのアンケート調査結果

〔項目1. e) ICU看護婦が家族に対して配慮していること〕

状況を細かく看護婦の答えられる範囲で話す	1 3
スキンシップをはかってもらう	1 2
面会時間の延長をする	3
面会時 席をはずす	4
場合によっては見守る	2
医師との連絡をとる	3
家族の状況にも配慮する	3

複数回答 (名)

5. 考察

患児と家族が隔離されてしまうICUでは短い面会時間が両者にとって大切な時間である。そのため自分達の看護の中で援助の時間として重要な位置を占めると考え、まず改善できる点として面会時の看護婦の対応や家族が行う援助を中心に考察した。

家族が看護婦に「勧められて援助した」という86%の回答から、家族が患児に援助することへの

看護婦の働きかけが定着していると言え、スタッフのアンケート調査からも援助を積極的に勧めていることがわかった。

家族が患児に行う援助としては「声をかける」「さすってあげる」などがあげられ、援助してみて「良かった」と85%の人が回答しており、援助を通してのスキンシップの重要性を改めて認識した。

しかし家族にとっては日常行っている援助にもかかわらず、「初めて援助する」「挿管チューブ、点滴が多い」ということが不安の要因になっている。又、看護婦がする援助への説明について、説明不足をあげた人はないが、不安を持っている人はおり、援助のすすめ方が問題であるといえる。親が子供の援助に参加することについて片田は¹⁾「親の当然の権利であるとし、それを看護婦がどのように援助するかが問題である」としている。援助を勧める上では説明だけでなく、家族と一緒の援助をすることや、援助を繰り返し行ってもらい慣れてもらうことが不安の緩和につながるのではないかと考える。他に、少数意見ではあるが「もう少しやりたかった」と回答している人は、在室日数が13.5日と長く、挿管チューブや点滴類などがある状態に慣れたことや、援助する機会が増えたことが理由と考える。

次に面会中の家族が看護婦に望む姿勢については、家族の不安が大きいため「ずっと側にいて欲しい」と望む家族が多いのではないかと予測したが、実際には「ずっと側にいて欲しい」と「少し話をしたら席を外して欲しい」に大きくわかれた。「ずっと側にいて欲しい」と回答した21名中11名は挿管していた時期があり、又19名は初回入室者ということから、緊急予定入室、疾患とは関係なく「挿管中である」、「患児が初回入室者」などが不安をもつ原因といえる。「少し話をしたら席を外して欲しい」と回答した家族は、患児の状態がよいのではないかと予測したが、挿管の有無や疾患の予後に関係なく限られた時間内でも患児との時間を持ちたいと望んでいることがわかった。この事から家族には面会時必ず声をかけ、初回入室時や挿管中はなるべく側にいるようにする。また様子を見ながら患児と家族だけの時間を作るなどのきめ細かい配慮が必要である。席を外すときも声をかけ、安心感を与えることも大切である。

看護婦の話し方、態度については、51名が「よかった」と回答している中で少数意見であるが「どちらでもない」と7名が回答しており、「声をかけにくい」など気になる点を挙げている。これはスタッフのマスクの着用が原因と思われる。わかりやすい言葉や優しく温かい態度で接するなど、家族が声をかけやすい雰囲気とし、この事が家族との信頼関係を築く基本になると考える。また面会時行う患児の状態説明も、少数意見ではあるが、説明不足を挙げている。具体的には、治療面や患児の状態についてであったが、緊急予定入室や疾患、入院期間との関連はなかった。説明については短時間でも医師、看護婦の両者からの説明を行い、家族が知りたいと思っていることを引き出して行く必要がある。更に、説明する際は、家族がどのような精神状態にあるかを把握し、家族自身が冷静になれるよう、看護婦側の落ち着いた対応が大切である。

6. おわりに

アンケートの回収率が75%得られた事から、家族の患児の援助への関心が高いことが伺える。援助は大多数の家族に受け入れられていたが、中には否定的意見も少数あり、自分達の看護の問題点として評価することができた。ICUに入室している患児と家族には日々変化する病態により様々な不安と緊張があり、すべて同じ様に看護することはできない。自分達の看護が家族の負担にならな

いよう、今回の研究を生かし、患児と家族の関わりを大切にした援助を進めていきたい。

【引用・参考文献】

- 1) 片田 範子：両親への看護，N I C U，4(11)：11-15，1991
- 2) 上野 勉，ほか：N I C U入院時の家族への対応，小児看護，12(10)：1217-1222，1989
- 3) Molter NC：Needs of relatives critically ill patients：A descriptive. HEART & LUNG，8(2)：332-339，1979
- 4) 猿渡 和子，ほか：患者はI C Uをどのように受けとめているか，I C UとC C U，4(10)：1101-1106，1980
- 5) 中根真由美，ほか：I C U入室患者家族の不安へのアプローチ，看護学雑誌，47(12)：1389-1392，1983

〈資料1〉

〈家族用アンケート〉

1. 面会について伺います。

- (1) 現在、ご家族の皆さんの面会回数は1日3回としておりますが、良いと思われるものに○印をつけてください。

1日（・3回・4回・5回・自由）が良い。

- (2) 面会時刻は朝7：30～8：00、昼12：30～13：00、夜19：30～20：00、としておりますが、いずれかに○印をつけてください。

面会時刻は（よかった・よくなかった）

よくなかった、と答えた方に伺います。他に希望の時間帯がありましたら時間と理由をお書きください。

(例) 15：00～15：30 ミルクの時間 等

()

- (3) 面会時間は一回30分としておりますが、良いと思われるものに○印をつけてください。

- ① 一回につき（・15分以内・30分・1時間・自由）が良い。

自由が良いと答えた方、理由をお書きください。

(例) 遠方より来た時、面会したい 等

()

- ② 面会時間を延長したり、時間外に呼ばれて面会した事がありますか？

(ある・ない)

「ある」と答えた方に伺います。その時に感じた事について、いくつでも○印をつけてください。

ア. 子供さんと十分話せた	イ. 時間外に呼ばれるのは負担であった
ウ. いつ呼ばれるか心配だった	エ. まわりの患者さんが気になった

他にありましたらお書きください。

()

- (4) 面会は一回につき2名ずつとしておりますが良いと思われるものに○印をつけてください。

一回につき（・2人・3人・4人・自由）が良い。

2. 集中治療室の看護婦の応対について伺います。該当するものに○印をつけてください。

- (1) 御家族の皆さんが面会に来られた時、看護婦から声を（かけられた・かけられなかった）

声をかけられて（・良かった・悪かった・どちらでもない）

- (2) 看護婦の話し方・態度について伺います。

- ① 御家族の皆さんに対して看護婦の話し方・態度はいかがでしたか？ ○印をつけてください。（・良かった・悪かった・どちらでもない）

①で「悪かった」「どちらでもない」と答えた方に伺います。どのような点が気になったでしょうか？ いくつでも○印をつけてください。

ア. 声が小さい イ. 声が大きい ウ. 話し方が早い エ. 言葉が難しい
オ. 話し方・態度が冷たい カ. 声をかけにくい キ. 雑談している
ク. 頼んでもすぐしてくれない ケ. 質問に答えてくれない
コ. 子供さんに話かけが少ない

この他にありましたらお書きください。

()

② 御家族の皆さんが面会されている時に看護婦はどうしていたらよいですか？ 該当するものに○印をつけてください。

ア. 話をしながらずっと側にいて欲しい イ. 声をかけず側にいて欲しい
ウ. 子供と家族だけにして欲しい エ. 少し話をしたら席をはずして欲しい

他にありましたらお書きください。

()

3. 御家族の皆さんの面会中の事について伺います。

(1) 面会中、看護婦に特に勧められて、子供さんに何かされた事がありましたら、いくつでも○印をつけてください。

ア. 声をかける イ. 顔や体を拭く ウ. さすってあげる エ. 抱っこする
オ. 食事やミルクをあげる カ. 本を読んだりあやす

他にありましたらお書きください。

()

(2) (1)で一つでも○印をつけた方に伺います。

実際に行ってみての感想に○印をつけてください。

ア. 不安だった イ. ただ見ているだけで良い ウ. もう少しやりたかった
エ. 良かった

(3) (2)でア, イに○印をつけた方に伺います。その理由について○印をいくつでもつけてください。

ア. 初めてしたので イ. やり方がわからない ウ. 説明が不十分
エ. 点滴やチューブが多く怖い オ. 病気に影響するのではないかと不安

他にありましたらお書きください。

()

4. 面会の時、医師や看護婦は、御家族の皆さんに子供さんの事について説明するように努めています。(1)(2)の質問にあてはまるものの記号をいくつでも下のア～サの中から選びお書きください。

(1) 実際に説明を受けた事

()

(2) 説明が不十分だったと思われる事

()

ア. 病気について イ. いつ病室へ戻るのか ウ. 検査について
エ. 治療について オ. 熱や血圧など今の状態について
カ. 眠れているか キ. 痛がっていないか ク. 食事のことについて
ケ. 泣いたり寂しがっていないか コ. その日にした事 (体をふいた等)
サ. 家族の質問や不安について

③ この他に聞きたいと思った事がありましたらお書きください。

()

5. 集中治療室は特殊な環境で病棟とはかなり違いますが特に強く感じた事にいくつでも○印をつけてください。

ア. 広々している イ. 狭い ウ. 明るい エ. 暗い オ. 静かである
カ. ベットの上や周囲が散らかっている キ. 機械類や物が多い
ク. 機械の音がうるさい ケ. 汚い コ. 消毒薬などの臭いがある
サ. カーテン1枚でしきられており周りが気になる シ. 個室の方が良い
ス. 殺風景である セ. 童謡などのテープが流されていたがうるさい
ソ. 他の患者の聞いているラジオの音が気になった
タ. 大人の中に子供がいて不安である

他にありましたらお書きください。

()

6. 子供さんの慰安になるようなおもちゃや絵本を持ってきていただくことがあります。どのような物があったらよいと思いますか？ いくつでも○印をつけてください。

ア. 絵本 イ. おもちゃやぬいぐるみ ウ. 好きなカセットテープ
エ. お守り オ. 家族の写真 カ. タオル キ. おりがみ ク. 絵かき道具

他のありましたらお書きください。

(

)

*7・8については、該当する方のみお答えください。

7. 予定の手術で入られた方に伺います。手術前に、集中治療室についての概要を説明していますが、該当するものに○印をつけてください。

看護婦の説明は（・良かった・悪かった・どちらでもない）

「悪かった」「どちらでもない」と答えた方に伺います。どのような点が気になったでしょうか？ いくつでも○印をつけてください。

ア. 話し方が早い イ. 言葉が難しい ウ. 子供へも説明して欲しい
エ. もらった用紙だけでは、よくわからなかった オ. 説明時間が短い
カ. 持ち物がはっきりしない キ. 集中治療室の場所がわからない
ク. 突然来てびっくりした ケ. 病棟の看護婦の説明だけで良い

他のありましたらお書きください。

(

)

8. 子供さんが突然、集中治療室へ入れられた御家族の方に伺います。突然の入室で不安が大きかったと思いますが入室時、もう少し丁寧に説明して欲しかった事がありましたらいくつでも○印をつけてください。

ア. 病気について イ. 用意するものについて ウ. 検査・治療について
エ. 子供さんの状態について オ. 入院の手続き等事務的なことについて
カ. 面会について キ. 家族が待機・宿泊する場所について
ク. 集中治療室について

他にありましたらお書きください。

(

)

〈資料2〉

〈看護婦用アンケート〉

現在、年間入室者の約20%を学童時期までの小児が占めています。予定の手術で入室してくる患児に加え、緊急入院にての入室もかなりあります。そんな中で私達は、成長段階にある小児の特徴を理解しました、家族とのつながりを大切にしていかなければならないと思います。当ICUにおいて現在、小児に対しどのように認識しているのか調査したいと思いますのでアンケートにご協力ください。

1. 小児の面会について（該当するものに○印をしてください）

a) 面会回数について

面会回数は1日（1・2・3・4・5・自由）が望ましい。

b) 面会時間について

面会時間は1回に（15分・30分・1時間）が良い。

c) 面会人数について

面会人数は1回に（1・2・3・4・制限なし）が良い。

d) 面会時刻について

現在の時刻は（適当・不適當）後者を選んだ方は、具体的にお書きください。

（例 小児の食事の時間に合わせる）

（

e) 面会時家族に対して配慮していることを具体的にお書きください。

（

f) 小児の面会で気になっている事、改善した方がよい点がありましたら、お書きください。

（

g) 面会時の看護記録は何を書いていますか？

（

2. 術前オリエンテーションについて

現在小児用の術前オリエンテーション用紙がなく、大人用を使用していますが

a) 術前訪問において配慮していることは、何ですか？

（

また肝移植用の術前パンフレットが小児用がありますが、出来れば一般の患児にも

b) (あった方が良い・必要ない)

c) 術前オリエンテーションで改善した方がよい事はなんですか？

（

3. 緊急入院において

a) 緊急入院の小児または新生児に対してあなたは、どんな働きかけをしていますか

（

4. その他小児と家族について気づいたことがあればお書きください。

（

ご協力ありがとうございました。